

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	わかば保育園	施設種別	保育所 (旧体系： )
評価機関名	社団法人京都府保育協会		

平成 25 年 1 月 29 日

総 評	<p>わかば保育園は、昭和51年5月1日に開設し、平成19年4月1日より地域の強い要望に応え、他地域から当地に移転改築し今日に至っています。眼前に広陵とした田畑が広がり、由良川が流れる自然豊かな地であり、広い敷地と採光に優れた中に園舎があります。</p> <p>法人の理念に「共生」を掲げ、子どもたちが、地域との交流や、併設する高齢者福祉施設とのふれあいなど、さまざまな経験を通してその心が育まれるよう取り組み、保育目標の一つである「自然や地域社会との豊かな経験を通して、生きる力と人間性を養う」を実践しています。</p> <p>倫理綱領・職員行動規範20ヶ条を掲げ、保育園職員として自らの人間性と専門性の向上に努め、一人ひとりの「子どもの最善の利益」を尊重し、その目的に向け、安心・安全な保育環境、愛情を十分に享受できる環境づくりに取り組んでいます。</p> <p>子育て支援事業の充実を目指し、一時保育事業・延長保育事業に加え、多様化する就労形態に対応するため、福知山市内で唯一、休日保育事業に取り組むなど地域の保育ニーズに応じています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専用のランチルームがあり、クッキング用に園児向けキッチンの設置や、ランチルームから調理室内が見えるよう整備されています。菜園活動で収穫した野菜を、給食や行事の中で取り入れています。また、年長児は、お米洗い、食器洗い、おやつ配膳などに参加し、食事に興味を持てるよう配慮しており、食育に積極的に取り組んでいます。</li> <li>・ 施設内の情報や記録関係は、パソコンを有効に活用し整理されており、園内のサーバーで一元管理しています。各クラスに1台パソコンを導入し、迅速に情報共有出来るよう整備されています。</li> <li>・ 法人の研修計画により、組織が求める人材像が明示されています。職員は、経験年数や役職に応じて7つの階層に分類され、それぞれのキャリアパスの方向性を示した育成計画表を作成し、それに沿って人材育成に取り組んでいます。</li> <li>・ 法人で毎月、施設長会・栄養士会・看護師会、出納職員会などの研修会が実施され、法人全体で業務の効率化や、新しい知識・情報を共有出来るよう努めています。また、各施設内で実施した研修内容も報告し、法人で整理し各施設に発信しています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育課程など、保育に関する計画を保護者に周知されるとなお良いでしょう。</li> <li>・ 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されています。今後は、記録する内容にばらつきが生じないようにルールやマニュアルを作成するなど、一定の基準を設けられるとなお良いでしょう。</li> </ul>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【保育所版】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	わかば保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	2013年1月29日（火）

**保育所評価基準 対比シート**

**I 福祉サービスの基本方針と組織**

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B		
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

**[自由記述欄]**

・法人の理念、保育の理念・保育方針・保育目標が明文化され、園のしおりやホームページに掲載されています。また年2回、法人全体の取り組みや事業内容を掲載した情報誌を発行し、保護者や地域の方に配布しています。

・保育課程と年間指導計画・短期指導計画との整合性が図られています。管理者は、指導計画の評価を毎月実施し、次の指導計画に反映するよう努めています。今後は、保育課程など、保育に関する計画を保護者に周知されるとうお良いでしょう。

・法人の規程関係や、園長・主任が中心となって策定する園の保育内容・就業内容などの規程が整備され、パソコンで全職員が自由にアクセス出来るようになっています。

・施設内の情報や記録関係は、パソコンを有効に活用し整理されており、園内のサーバーで一元管理しています。各クラスに1台パソコンを導入し、迅速に情報共有出来るよう整備されています。職員会議録も統一の書式に記録され、会議に参加しない職員も確認出来るようにしています。法人の内部監査を毎年実施しています。

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A	
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A			
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

### [自由記述欄]

・必要な人材は、人材に関する育成計画書があり、保育園の要望を考慮した上で法人本部で採用決定をします。

・管理者と職員との個別面接の年3回実施や、法人が契約している専門のアドバイザーとの随時相談受付など、職員の就労状況や意向・悩みが相談出来る体制があります。

・法人の研修計画により、組織が求める人材像が明示されています。職員は、経験年数や役職に応じて7つの階層に分類され、それぞれのキャリアパスの方向性を示した育成計画表を作成し、それに沿って人材育成に取り組んでいます。法人で毎月、施設長会・栄養士会・看護師会・出納職員会などの研修会が実施され、法人全体で業務の効率化や、新しい知識・情報を共有出来るよう努めています。また、各施設内で実施した研修内容も報告し、法人で整理し各施設に発信しています。

・毎週の園庭開放や、休日保育,関連する高齢者施設との交流など、地域とのかかわりや施設の有効利用に努めています。

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

#### [自由記述欄]

・苦情解決の仕組みが確立され、保護者に周知されています。保護者からの意見と回答は、園だよりと掲示によりフィードバックしています。

・定期的に第三者評価を受診し、指摘事項の改善に努めています。個別の職員による自己評価は、年度始めに本人が策定する目標管理シートに沿って、管理者と見直し次年度に活かしています。

・管理者は、毎月開催の職員会議、企画会議、乳児会議、幼児会議、給食会議、毎朝の朝礼に出席し、情報の共有と、保育内容が園の方針に沿った形で実施されるよう取り組み、園全体で一人ひとりの子どもたちを見守れるよう努めています。

・保育の開始にあたり、保護者に保育内容に関する説明を実施すると共に、個人情報に係る取扱承諾書を得ています。

・転園に際し、引き継ぎ書があり、必要事項を記入し転園先に保護者の同意を得たうえで提出しています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

・年2回実施の内科健診・歯科健診の診断結果は連絡帳により各家庭に知らせています。

・専用のランチルームがあり、クッキング用に園児向けキッチンを設置や、ランチルームから調理室内が見えるよう整備されています。菜園活動で収穫した野菜を、給食や行事の中で取り入れています。また、年長児は、お米洗い、食器洗い、おやつ配膳などに参加し、食事に興味を持てるよう配慮しており、食育に積極的に取り組んでいます。アレルギー疾患を持つ子どもに対し、全て代替食で対応しています。

・保護者が参加する収穫祭や親子クッキング(カレー・ぶた汁・さんま焼きなど)を開催し、子どもと一緒に会食を実施したり、食育について説明したりしています。また、給食日より、人気メニューのレシピや、旬の食材紹介、給食行事の様子などを伝えています。

・ホールに好きな遊びができるコーナーの設置や、サーキット遊びが出来る環境を整え、子どもが自由に思い思いの遊びに没頭できるよう工夫や働きかけを実施しています。それらのスペースは、子どもが作ったパーティーで仕切られ、子ども自らが保育環境づくりに参画しています。園庭でウサギを飼育し、年長児が世話をしています。  
・全園児対象に毎朝リトミックを実施しています。専門講師による体操(4~5歳児)の実施や、異年齢児でのオペレッタやクラス単位でリトミックなどを取り入れています。クリスマス会では3~5歳児による異年齢の発表会があります。

・職員は人権研修に参加しています。子どもの文化の違いや互いに思いやる心を育てるため、人権に関する絵本を読んだり、話し合う機会を設けています。

・延長保育用の日誌があり、日々の延長時の保育内容が適切に実施されるよう配慮しています。

## IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	B	B
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	B	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

### [自由記述欄]

・毎年6月に全園児を対象に個別面談を実施しています。

・家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されています。今後は、記録する内容にばらつきが生じないようにルールやマニュアルを作成するなど、一定の基準を設けられると大変良いでしょう。

・保護者参加の行事は、参加しやすいように主に土曜日に実施し、保育内容や園の方針を広く理解してもらえるよう配慮しています。また、行事ごとに保護者アンケートを実施し、その内容を保護者にフィードバックしています。

・一時保育を実施しています。通常保育の園児との交流も実施し、保育日誌による評価・反省を行い日々の子どもの状態の把握に努めています。

## IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

### [自由記述欄]

・ヒヤリハット報告を作成しています。日々の事故から、軽微な内容まで細かく記録しており、内容分析を行い再発防止に努めています。

・園内設備や遊具の安全点検チェック表があり、事故防止に努めています。